



あらゆる有事に対応する司令塔組織の設置を求める提言を発出 ～一般生活者2,000人アンケートから政府対応の問題点を指摘～

生団連は、新型コロナウイルスに対する政府対応について一般生活者2,000人対象に実施したアンケートをもとに、パンデミックのみならずあらゆる有事に対応する司令塔組織の設置を求める提言を政府へ発出したしました。

生団連は2020年6月より新型コロナウイルス対策を最重点課題に位置付け、国の抱える問題点を整理しながら活動を行ってまいりました。そして、パンデミック開始から2年半が経過した2022年10月に、一般生活者へ政府のコロナ対応に関するアンケートを実施し、12月に提言をとりまとめ政府へ発出したしました。

生団連は政府のコロナ対応について各論に入らず、コロナ禍で見た国の根本的課題を分析、問題解決のための提言を行うことを主軸に提言を取りまとめています。パンデミック発生から3年を迎えようやく平時に戻れる兆しが見えてきた今こそ、今回のコロナ禍で見た課題を総括し、パンデミックのみならずあらゆる有事に対応できる体制を構築する必要があると生団連は考え、この度提言を発出致しました。



図-1 政府が予定する感染症危機管理統括庁と生団連が考える有事総司令塔組織（仮称）

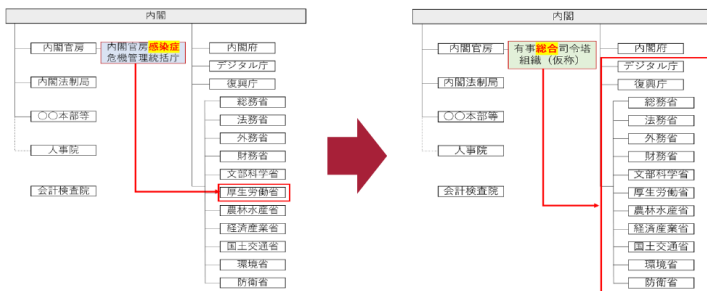
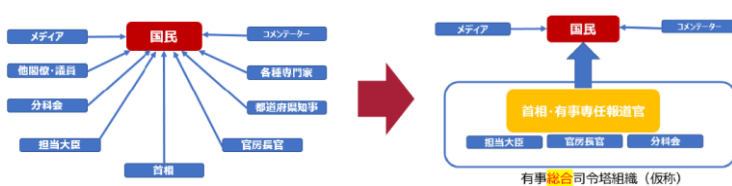


図-2 コロナ禍での国民への情報発信の姿と生団連が考える情報発信のあるべき姿



解説動画も公開中

【生団連】あらゆる有事に対応する司令塔組織の設置を求める提言

生団連が政府へ提出しました提言内容を、簡潔に説明しています。



国民の生活・生命を守るための

有事総司令塔組織

の設置が必要

大規模災害

感染症

外交安全保障

* 提言策定にあたり、一般生活者へ生団連が行ったアンケート結果も公開しております。

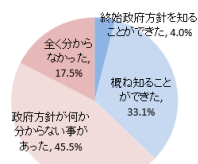
回答者2,000名概要

	人数	%
男性	1000	50.0
女性	1000	50.0

	人数	%
20～29歳	214	10.7
30～39歳	374	18.7
40～49歳	485	24.3
50～59歳	565	28.3
60～69歳	274	13.7
70歳以上	88	4.4

Q3 政府のコロナ対策に関する方針はどういったものが出されているか、様々な関係者が発言する等により声が届いてしまし、国民には今現在の政府の方針が分からなくなってしまっているのではないかと指摘がありました。実際に皆様から見て、どのように感じられましたか？

* 方針の内容の評価ではなく、あくまで情報発信方法についてお答えください



© Seidanren

7

Q4 Q3の理由を具体的な事象と共に聞かせてください

生団連

一部抜粋

【終始政府方針を知ることができた・概ね知ることができた】回答数742名
◆ 政府がどうのこうのと言うより、報道機関が正確公正に報道していたので正確に知ることができた
◆ 窓口を一本に絞ればよいのに、初めて朝からニュースを読み漁って情報収集したため
◆ さまざまなメディアを通じて、しっかりと伝えられていると思う。

【政府方針が何か分からない事があった・全く分からなかった】回答数1258名
◆ 自治体から色々な発言もあり何が政府の対策かわからなくなった
◆ 最終的にどうでせよとばかり言わない。何か伝えたいのなら、ポイントをまず伝えるという基本的な事が全くできていない。
◆ 最初の菅首相の時は色々分かったが大臣が代わってからは責任を持って出しているのかわからなくなっている

© Seidanren

8

第8回 企業部会幹事会 開催

2023年2月3日、企業部会幹事会を東京會館にて開催いたしました。

最重点課題「有事における国民的危機への対応」では、政府中枢に宛てて提言を発出したことが報告されました。その他にも、災害支援スキームや会員団体内での活動について活発な議論が行われました。



▲小川会長



▲村田会長代行(日本百貨店協会会長)

議題1 「有事における国民的危機への対応に関する提言」の発出について

新型コロナウイルスパンデミックの反省を踏まえて、様々な有事に対する司令塔機能の設置 及び 平時からの備えを求める提言を政府中枢へ発出したことが報告されました。

議題2 災害支援スキームの今後の課題について

既存の災害支援スキームをより実効性の高いものに改良すべく、生団連事務局より新スキームが提案され、会員企業での災害支援の取組みなども交え、議論が行われました。

議題3 生団連活動の社内・団体内共有の事例報告

(株)ゼンショーホールディングスに協力いただき、生団連の活動を知っていただくセミナーを開催していることが、企業との取組み事例として紹介されました。また、一般社団法人日本百貨店協会 村田会長 より、同協会において「外国人の受入れに関する基本指針」の採択を決議いただいたことが報告されました。

議題4 これからの生団連活動の方向性について

既存の課題（最重点課題：1、重点課題：5、研究課題：4 計10課題）を振り返り、生団連として、今後より重点的に取り組むべき課題などについて議論が行われました。

第3回 ZEAN×生団連セミナー

1月25日 第3回ZEAN×生団連セミナー 外国人の受入れについて を開催いたしました。

ゼンショーグループ労働組合連合会（ZEAN）に向けて、生団連の取り組む活動内容についてセミナーを開催しました。生団連の活動を知っていただき、国家の問題を自分事として考えていただくため、グループワークも交え、参加者の方にも活発に議論していただきました。今回は外国人の受入れに関する委員会の活動内容を共有し、**自分の中にある外国人の概念を改めて見つめなおしていただき、彼らとの生活の中で発生する課題について、その解決に向け自らができることについて議論・共有しました。**

【参加者からの意見】

- 外国人がどのような手段、手順、方法で日本に来るのか。なぜ、日本で働こうとしているのか、を具体的に知ることができた。
- 近隣学校から留学生を紹介してもらっているの、受け入れ時に毎回、相手の母国の状況を調べ会話内容に気を付けていますが、セミナーを受講したことで、更に一步踏み込み、コミュニケーションを取れるように店舗スタッフを巻き込み、全員でウェルカムな雰囲気迎え入れられるようにしたいと思った。



ニュースレター【お問合せ先】

国民生活産業・消費者団体連合会(生団連) 小坂 ☎ : 03-6833-0493 ✉ : jim@seidanren.jp
〒108-0075 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル8階 URL : <https://www.seidanren.jp/>